健康をつくる　平和をつくる

さわやかさん

盛岡医療生活協同組合
〒020-0835盛岡市津志田26-30-1
発行責任者　鈴木幸子
TEL 019-635-6253
FAX 019-635-1736
http://www.morioka-medi-coop.or.jp/

2025年
7月特別号

盛岡医療生活協同組合 第61回通常総代会開催

議長に選出された石川サコ総代（左）
山下研悦総代（右）

開会宣言
千葉仁志 副理事長

盛岡医療生活協同組合第61回通常総代会が6月21日いわて県民情報交流センター アイーナにて、総代定数159名中、本人出席138名、書面出席12名、委任出席4名、合計154名の出席のもとで開催されました。

理事長あいさつ

理事長　田村　茂

今、介護と医療は激動期といえます。政府は医療の費用を抑えるため、強く制限する方向で動いています。そのため、ほとんどの病院が経営困難となっています。このままでは地域の病院はなくなってしまいそうです。

今、政府が行っていることは、家計に例えると、体調が悪くても病院を受診しない、薬も買わない、お金は投資にまわす、武器を買うといった状況です。こんな家庭があったらあきれてしまいます。医療は人の生活にとってなくてはならないライフラインです。盛岡医療生協の事業は地域にとって必要なものです。事業と運動を発展させていきたいと思います。

組合員、職員のみなさん、力を合わせて頑張りましょう。

来賓として、岩手県立県民生活センター所長、今俊晴（こんとしはる）様、岩手県生活協同組合連合会会長 阿部慎二様、岩手保健企画 専務理事 遠藤洋史（ひろし）様、いわて共同福祉会 理事 伊東碩子（せきこ）様にご臨席いただきました。代表して二名の方に祝辞を頂きました。

岩手県立県民生活センター所長
今　俊晴　様

岩手県生活協同組合連合会会長
阿部　慎二　様

佐藤正勝専務理事と鈴木幸子（さちこ）常務理事より、5つの議案が一括提案されました。

佐藤　正勝
専務理事

鈴木　幸子
常務理事

第1号議案
2024年度のまとめと事業報告、決算報告、剰余金処分承認の件

第2号議案
第7次3か年計画の振り返り及び第8次3か年計画決定の件

第3号議案
2025年度事業と運動の方針及び予算決定の件

第4号議案
2025年度役員報酬決定の件

第5号議案
役員退任慰労金支給の件

第6号議案
役員選出の件

議案提案後の全体討論では、総代10名、職員3名、理事1名から発言があり、活発な討論が行われました。全体討論のあと、第1号議案から第5号議案を賛成多数で採択しました。その後、第6号議案で役員を選出しました。決議とアピールを拍手で確認し、総代会を終了しました。

総代会終了後、2024年度の支部表彰・班表彰を、代表して北岩手支部、秋桜班に、理事長より表彰状と副賞が贈られました。

健康チェックについて

久慈　きぬ子（松園支部）

年3回の健康チェックと地域の要望による出張健康チェックを実施し、地域の健康づくりに貢献しています。毎回50～60人が参加しています。スタッフは健康チェックサポーター養成講座の受講経験者です。新しいスタッフは翌年の講座受講へとつなげ、継続的にスタッフを増やしています。地域の「松園新聞」でも紹介され、医療生協の理念「地域まるごと健康づくり」を実践していると実感しています。

班活動の名前　おたく班

川島　孝子（こうこ）（滝沢南支部）

「おたく班」は近所のおばさんたちの気軽な集まりから始まり、結成してまだ3か月の新しい班です。「健康チェックに行ってみない」と誘い合い、仲間が次第に増え、組合員も増えました。健康チェックでは看護師から丁寧なアドバイスが受けられ、普段話しづらい相談もできて好評です。「ご近所づきあいを大切に」という思いから班名を決定。これからも楽しく活動を広げていきたいと考えています。

サロンについて

平野　幸子（ゆきこ）（天神支部）

支部委員が減少したため、地域とのつながりを深めるためにサロンを始めました。体を動かしながら日常の話題で盛り上がる場になるよう、工夫をしました。お尻歩きやボッチャの体験、多彩な話題で笑顔があふれました。昨年度は14回開催し35人が参加しました。班づくりへつなげていきたいと思っています。

四課題達成について

遠藤　恵美子（厨川・みたけ支部）

「モルック」に魅力を感じ、支部で体験会を実施後、12人でモルック班を結成しました。参加者は増え続け、活動が広がっています。他にもシャッフルボードや映画など多彩な活動を行う班があり、皆が自分らしく楽しんでいます。2年連続で四課題を達成しました。医療講話も好評で、支部委員が整形外科の上田先生の診察に通うほどです。医療生協の活動を通じて、岩手県の健康寿命最下位という課題を共に乗り越えていきましょう。

健康チャレンジについて

成澤　廉子（玉山支部）

２０２４年の健康チャレンジは報告の締め切りが12月で、記念品を雪道の中届けることになり大変でした。それに比べて、２０２５年の健康チャレンジは８月が締め切りとなり、秋のうちに活動を終えることができます。再びやる気も湧いてきました。これからも前向きに、健康づくりの活動をがんばっていきたいと思います。

増資と新規加入の目標達成のために

鈴木　満（みつる）（河南支部）

目標の増資１００万円を超える１１９万円を達成し、仲間づくりも目標15人に対して20人増という結果になりました。

成功の要因は、地道なコツコツ増資の取り組みと、「なぜ増資が必要か」をわかりやすく伝える広報活動でした。また、健康講座や健康チェックで丁寧に声かけを続け、成果に結びつけました。大切なのは、目標に向けて真剣に悩み、考え、支部委員全員で取り組み、組合員にわかってもらえる工夫をすることではないでしょうか。

ひだまりデイサービスを利用して

小又（こまた）　政子（湯沢支部）

体験会をきっかけに２月から半日型デイサービスを利用し始めました。「５年後、10年後も元気に」というスタッフの言葉に背中を押され参加しています。送迎があり、リズム体操や個別運動、モルック、おやつの時間まで、あっという間の３時間です。デイサービスで習った体操をたまり場「みんなの家」で実践し、笑い合いながら仲間と共有しています。医療生協の事業を利用することで、貢献できていることが嬉しいです。

心地よい日々を過ごす、新しいひだまりデイサービス

下澤　望美（ひだまりデイサービス主任介護福祉士）

地域の要望に応えるため、４月からサービス内容と定員の見直し、半日デイサービスの営業日を拡大しました。特徴は、個別対応や専門スタッフによる多彩なプログラムがあることです。利用者の方からは、毎日の体操で体が軽くなった、新しい友達ができた、スタッフの笑顔に励まされているなどの声を頂いています。

どんぐり保育園を知ってもらおう

吉田　容子（どんぐり保育園　園長）

１９７６年に保育士１名、園児２名からスタートし、来年で50周年を迎えます。法人と労働組合、働き続けたい職員の思いから始まり、現在は産休明けの０歳児～２歳児24名を受け入れています。認可保育所となって９年目となる今年、地域の子ども８名も在籍しています。保護者との交流も重視し、５年ぶりに誕生会で給食の試食を再開しました。さらに、地域に向けて、子育て班づくりや園内開放なども新たに取り組んでいます。

今年度の川久保病院の体制や活動について

田中　晴美（川久保病院　総看護師長）

看護師など医療人材の確保が難しくなっています。そうした中、今年、９名が新たに入職しました。精神科外来も開設され、診療を行っています。また、専門看護師資格を取得した看護師が、現場での実践に励んでいます。病院長、総看護師長が交代し新しい管理部メンバーで、〝親切でよい医療〟を合言葉に、地域の皆さんが「川久保病院があってよかった」と思える病院づくりに取り組んでいきます。

社保・平和・くらしにかかわる運動について

下村　次弘（つぎひろ）（矢巾東支部）

矢巾町では２０２５年４月から、無料低額診療に関わる調剤助成費の補助が始まりました。これは、２０１８年度から毎年町長と医療生協支部とが懇談を重ねた成果です。今年も懇談を予定しています。今後も組合員とともに、町ぐるみで課題に取り組んでいきたいと考えています。

福島視察について

松本　玲子（理事）

社保・平和・くらし委員会が中心となり、原発事故の実態を学ぶため福島視察を実施しました。除染で発生した土壌や廃棄物を２０４５年までに県外搬出予定と聞き「受け入れ先はあるのか」と疑問が生まれ、課題の大きさを実感しました。現地の歴史と被害の深刻さを改めて学び、「原発ゼロこそ第一」の思いを強くし、今後も仲間とともに声を上げていきたいです。

誰もが健康で居心地よく暮らせるまちづくりへ

大楽（だいらく）　勝弘（全県）

日常生活では孤立感を覚えることもありますが、皆さんとのつながりに元気をもらい、意欲が湧いてきます。これまで医療生協の活動に自覚的に取り組んできた皆さんと足並みを揃えて、共に学び、行動していく決意です。

文書発言

支部活動援助金について

牛間木　栄子（山岸支部）

支部活動はこれまでボランティアを基本に取り組んできました。高齢となり今後も続けられるのか不安を感じています。電話料金やガソリン代など、実費相当の支援の検討をお願いします。

支部表彰　北岩手支部

班表彰　秋桜班

退任挨拶　佐藤正勝専務理事

閉会挨拶　浮田昭彦副理事長

《新任役員の紹介》

理事長　田村　茂
副理事長　浮田　昭彦　千葉　仁志
専務理事　鈴木　幸子
常務理事　片方　直樹　吉田　明美
佐々木徳司

理　事

佐藤カツエ（再）　松本　玲子（再）
中村　弥生（新）　高橋　光子（再）
林下　盛子（再）　佐藤　信之（新）
春山　一男（再）　大沼　憲子（新）
嘉村　祐之（新）　菊地　和子（再）
鈴木　隆雄（再）　菊地　宏（新）
川村よし子（再）　高柳眞由美（再）
曲木　政子（再）

監　事

小野寺　功（再）　金子　成子（新）
佐々木康夫（再）　颯田　洋子（新）

《退任役員の紹介》

理　事

帷子　淳子　齊藤　憲司
関口　孝子　新妻　龍子
宮澤　拓　佐藤　正勝

監　事

菊地　靖　伊藤　裕二